

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		今回の家族アンケートでは、1名のご家族から外出できないことへの不満が寄せられていた。これまでにないご家族からの意見に、当ホームの現状を詳細に説明できていなかった事を反省し、できるだけ利用者の外出の機会を増やしていきたい。	できるだけ毎日、午前中に散歩する。できない時は、中庭で気分転換を行う。また、買物の外出も積極的に行う。さらにご家族にも協力を得て、ご家族との外出を行っていただく。	①猛暑と厳冬期を除き、歩行可能な他の利用者の方達と一緒に散歩する。②ご家族へは、毎月1回外出の回数や状況を説明する。③ご家族へ自宅への外出を働きかける。	12ヶ月
2	8	権利擁護に関する制度の理解と活用	権利擁護に関する制度について職員全員が正しく理解し、活用できる。	地域権利擁護事業と成年後見制度について学ぶ。教えていただく講師については確約済み。	6ヶ月
3	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化利用者についてのあり方を再認識する。さらに終末期のあり方について学ぶ。	家族交流会の場で、重度化した利用者の対応を再度検討する。終末期に向けての対応は終末期の具体的なケアについて学ぶと共に職員のストレス解消法も学ぶ。講師については確約済み。	6ヶ月
4	7	虐待防止の徹底	高齢者虐待防止関連法について理解を深める。	高齢者虐待防止法を学ぶ。教えていただく講師については調整中。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。